

スマートコントラクト推進議員懇話会 設立総会



スマートコントラクトにより実現する世界 次世代自律分散型の自分情報銀行について

July, 2020

Presented by H. Fujii

Ver. 1.0



東京大学工学部を卒業後、1996年野村総合研究所へ入社。
2000年にジェミニ・コンサルティング・ジャパン（現PwC Strategy&）、2002年AIG、プルデンシャル生命保険、メットライフアリコ生命保険を経て、チューリッヒ・ライフ・インシュアランス・カンパニー・リミテッド 日本支店COOに就任。

保険業界のほぼあらゆるプロジェクトを経験し、業界の課題を理解すると同時に解決を目指して、2013年よりEY Advisory シニアパートナーを経て2015年にパクテラ・コンサルティング・ジャパン株式会社代表取締役社長に就任(2020年3月パクテラコンサルティングジャパン取締役退任)

スーパースマートリーガルコントラクト実現を目指して複数のスタートアップの取締役を兼務

現在、日本ビジネスシステム シニアパートナー

1. 『FinTechは保険業界の「何」を変えるのか?』
(東洋経済新報社)
2. 『AI時代のコンサル業界 消えるファーム、生き残るファーム』
(幻冬舎)



- コロナ禍において、日本社会全体のデジタル化は更に推進するべき状況であり、特にこれまで紙や対面を前提にしてきた契約行為を非対面かつペーパーレスにしていく必要があります
- ブロックチェーンで有名なスマートコントラクトを更に拡張し、法的にも有効かつAIを有効活用してしたビジネスモデル実現を目指しています
 - Super Smart Legal Contractを制度化を日本は目指すべき
- スマートコントラクトの適用事例として、自律分散型の自分情報銀行の実現により日本社会を世界の最先端の社会にすることを目指しています

コロナ対策をチャンスと捉えて例えば、保険業界が取り組むべきテーマはスマートコントラクト（仮説）

- 会社の知見をいつでもどこでも利用できるようにすること（AI KMS, AI avatar/Chatbot等）
 - 在宅勤務者も含めていつでもどこでも知見を活用してこれまでにないレベルのアウトプットを短期に出せるようにする
 - 顧客対応においても、会社の知見を必要なタイミングで必要なレベルで提供（サポート）できるようにすること
- デジタルを前提にしたオペレーション（特に、ペーパーレス）へのトランスフォーメーション（デジタルコントラクト等）
 - カスタマーエクスペリエンスのデジタルを前提にした再構築（スマートコントラクト）
- アフター（with）コロナを前提とした見込み客獲得から、契約、保全、支払いにおけるデジタルを活用（前提）した一貫したエンゲージメントUp
 - 次世代自律分散型の自分情報銀行

Super Smart Legal Contractとは？

これまでの契約に関連する社会の課題を解決

- 契約はしていても、実際には活用されていない

法的にも有効

- プログラム言語のままでは、可読性の問題もあり法的には無効

AIを有効に活用して更にスマートに

- 社会の情報資産、知的資産を有効に活用する
- 各個人がAIを有効に活用できるようにする
- 特に、法人における知見をAIが有効活用できるようにする

スーパースマートリーガルコントラクト（AIおよびブロックチェーン）による顧客手続きの完全自動化を目指ることが可能（保険業界事例）

- デジタル技術（主にブロックチェーンとAI）を活用して、保険加入契約を個人に帰属させる（個人情報管理を個人に委ねる）と同時に、AIのサポートにより個人は効率的なサービスを受益できるようになる
- デジタルID（法的に有効な）に個人保険契約に関わる情報（個人情報だけでなく、個人と関連している保険契約、そして本来個人にも帰属すべき契約情報（クレジットカード約款、銀行口座、EHR(電子カルテなど)等）を集めて、本来活用可能なサービス(クレジットカード付帯サービス、契約者貸付、保険給付金等)をAIが検知して保険会社等のAIと連動してサービス提供する
- 金融機関（保険会社等）において管理されてきた情報と機能（個人情報および、その個人に関連した契約内容）は各会社においては不要（つまり、巨大なメインフレームシステム等が不要）となり、各会社は大幅なコスト効率の改善が可能であり、本来業務（魅力的なサービスの提供）に集中することが可能となる

• ソサエティ5.0の実現 & SDGsの達成

- 社会の変革（イノベーション）を通じて、これまでの閉塞感を打破し、希望の持てる社会、世代を超えて互いに尊重し合あえる社会、一人一人が快適で活躍できる社会の実現
- デジタルを活用して、SDGsの達成、および各個人にとって幸福な世界を実現する

• More Life Less Digital

- 主役は全ての人間であり、各個人
- 先端技術を負荷なく使いこなすことができる、使っていることすら意識する必要がない世界の実現

ビジョン実現の具体的なビジネスモデルとして、自律分散型の自分情報銀行モデルを提唱します

自律分散型の自分情報銀行が実現したい世界は！（個人）

- 個人に関連するデータや情報を個人に帰属させ、個人の許諾、意思で安全かつ安心して、自由にデータ、情報を第3者へ提供、活用できる
- 蓄積された大量のデータ、情報よりAIを活用して、各個人にとり価値ある情報（つまりインテリジェンス）として各個人の人生をより快適（お金の不安、健康の不安、素晴らしい仲間との人生）にすること、社会を発展させること

自律分散型の自分情報銀行が実現したい世界は！（法人）

- 各法人に存在している暗黙知（法人内部に蓄積されたデータ、情報）に加えて外部のデータ、情報（各産業の壁を超えて交換された）をAIによりフルに活用して更なるイノベーションの実現
- 各法人に所属する従業員のパフォーマンスをフル活用する事による社会の発展

自律分散型の自分情報銀行 (XDI)の4つ特徴 (情報を集めて交換してAIでイノベーション+Trust Scoreでマーケット活性化)



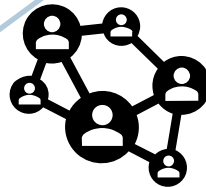
データ交換基盤 (エストニア等を参考)



ブロックチェーンを活用した情報管理
デジタルIDの発行
スマートリーガルコントラクト
IoTデバイスと個人情報の紐付け



Trust Score (信頼を定量化、可視化)



AIを活用したデジタルイノベーション
B to C向け (パーソナルアシスタント、アバター等)
B to B向け (AI CRM/SFA/MA等)

大量のデータを安心して各個人が活用できる仕組みを構築し、スマートコントラクト (with Trust Score)により、各個人はより最適かつスマートなサービスを楽しむことが可能

XDIは自律分散型の自分情報銀行の実現を目指しています

XDIアライアンス（JBS,スダングードキャピタル,ADVASA,XDI）とは社会基盤となることを目指しているデジタルプラットフォームです。情報は改めて各個人に帰属していることを前提にしたデータ交換、管理基盤、会話型AIおよびソーシャルロボティクスプロジェクト。このプロジェクトのビジョンは、人間がコミュニケーションをとるのと同じ方法で人々が機械とコミュニケーションすることを可能にする人間のようなコンピューターインターフェースを構築することです。金融（保険や銀行領域）、小売領域で世界初の人間のような会話をするロボットを構築します。



XDIはいつでもどこでも利用可能になることを目指します

IoT/IIoT with Vadax



Alexa



Camera



Custom devices



OPC UA Server

SCADA

Supervisory Control And Data Acquisition

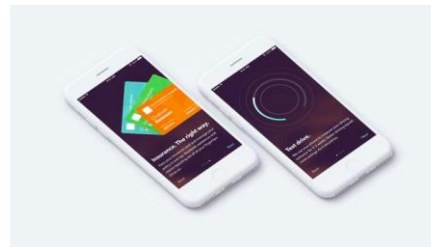


Home AI Recommendation / Prediction

Drone with XDI



SmartPhone with XDI



SmartGlass with XDI



SmartWatch with XDI



AI Speaker with XDI



まとめ

- スマートコントラクトの活用で日本を世界有数のデジタル先進国にトランスフォーメーションを目指します
- スマートコントラクトの具体的な活用事例が自律分散型の自分情報銀行になります。各個人の大量データを有効活用 (Trust Scoreの算出)しながら、各個人に最適なサービスを享受して頂くことを目指しています (= Society 5.0、SDGsの実現)
- 皆さまのご協力により、3年以内に実現を目指します

ご清聴ありがとうございました



Customer First

お客様とともに